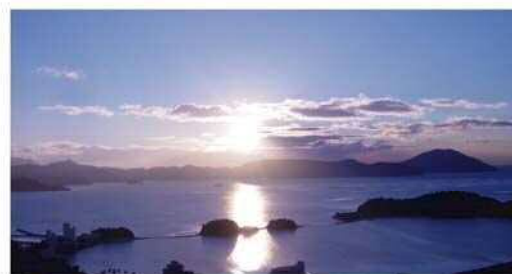


瀬戸内海景観ガイドライン



かがやけん、かがわけん。

香川県

目次

1. ガイドラインの位置づけ	1
1-1. ガイドラインの役割と目的	1
1-2. ガイドラインの対象地域	2
1-3. 瀬戸内海の多島美景観の概要	3
2. 瀬戸内海の景観のすばらしさ	4
2-1. 景観の捉え方	4
2-2. 瀬戸内海の景観を資料から学ぶ	5
2-3. 瀬戸内海の景観を人から学ぶ	9
2-4. 景観を類型ごとに捉える	11
2-5. 景観を地域ごとに捉える	19
2-6. 景観を瀬戸内海の固有性から捉える	26
2-7. 瀬戸内海の景観づくりの問題と課題	29
3. 瀬戸内海の景観づくりの基本理念・目標	30
3-1. 基本理念・目標	30
4. 景観づくりの指針	31
4-1. 瀬戸内海の景観づくりの指針	31
4-2. 類型ごとの景観づくりの指針	32
4-3. 地域ごとの景観づくりの指針	33
4-4. 景観保全の指針	35
5. 景観づくりの取組み	36
5-1. 景観づくりに向けた取組みの方向性	36
6. 景観づくりの進め方	38
6-1. 景観計画の策定	38
6-2. 景観計画等策定の体制づくり	41
6-3. 景観計画等策定のスケジュール	42
6-4. 住民が主役の景観づくり	43
7. 景観づくりからの住民主体のまちづくり	45
7-1. 基本的考え方	45
7-2. 住民主体のまちづくりの取組み	46

1. ガイドラインの位置づけ

1-1. ガイドラインの役割と目的

瀬戸内海の島々は、道路や上下水道など住民の生活基盤が着実に整備され、高度成長期にはリゾートホテルなどが建設されるなど、その姿は時代に応じ刻々と変わっています。

また、最近では、停滞する経済状況や少子高齢社会などの社会的背景から廃墟となった建築物の放置、耕作放棄地などといった状況も島の中に見ることができます。

しかし、瀬戸内海の島々は、日本を代表する瀬戸内海の多島美の景観そのものであり、島に住む人々だけでなく県民すべてが誇ることのできる景観を有しています。

また、瀬戸内海に溶け込むようにある棚田や漁港などの風景、祭りや農村歌舞伎などの伝統行事は、住民の手によって守られ営まれています。

このような瀬戸内海の特徴などを踏まえ、このガイドラインでは、瀬戸内海の景観づくりの重要性やその方向性を明らかにしています。

また、このガイドラインは、瀬戸内海の景観づくりを実践していく上での「基本的な指針」として位置づけ、広域的な観点から、市町が策定する景観づくりなどに関する方針、ルールなどについて、基本的な考え方を示し、瀬戸内海の統一のとれた景観づくりを目指しています。

さらに、景観づくりから自分たちのまちに興味をもち、まちづくり活動に参加することにより、地域のコミュニティが活性化し、元気なまちとなることを目指し、「住民主体のまちづくり」の方向性について示しています。

■ガイドラインの目的

- ①瀬戸内海の景観づくりの重要性や方向性を示します。
- ②市町が策定する景観づくりの方針やルールなどの基本的な考え方を示します。
- ③景観づくりから地域コミュニティの活性化を目指す方向性を示します。



豊島：東海岸からの眺望

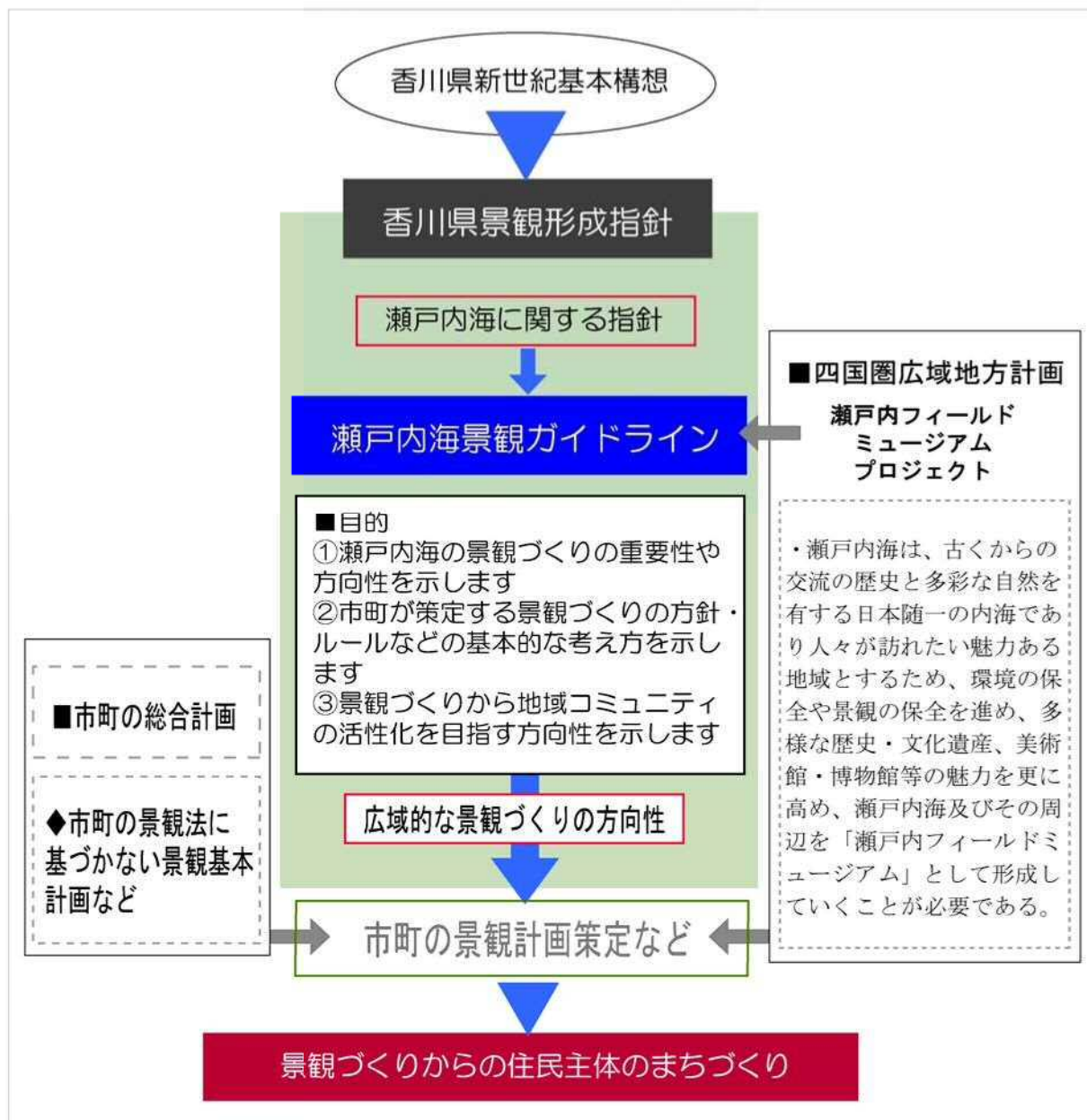


図-1 ガイドラインの位置づけ

1-2. ガイドラインの対象地域

このガイドラインは、香川県の瀬戸内海全域を対象とします。ただし、ガイドライン中「2. 瀬戸内海の景観のすばらしさ」及び「4-3. 地域ごとの景観づくりの指針」については、小豆島及び直島周辺をモデル地区として重点的に記載しています。この箇所について、他の地区は、モデル地区における景観の捉え方や景観づくりの指針などを準用します。

1-3. 瀬戸内海の多島美景観の概要

瀬戸内海は、昭和9年に我が国初の国立公園に指定され、大小1,000あまりの島々で形成された「内海多島美景観」を最大の特色としています。

また、古来より人々が「海の道」として往来し、歴史上の人物などが島々に立ち寄るなど歴史性の豊かな地域です。

穏やかな海とそこに浮かぶ島々を見ると、「二十四の瞳」を始めとする小説や映画の舞台となった白砂青松の海岸、昔ながらの集落やオリーブ園があり、そして明るく煌めく海、行き交う船などはこの地域を印象づける景観となっています。

また、島々では、自然の中に溶け込んだ古い港町、神社・仏閣、農村歌舞伎や祭りの伝統行事など、自然と暮らしの織りなす多様な景観を見せています。

四国の沿岸部に目を移すと、固有の山容を持つ屋島や五剣山、五色台、その背景となる讃岐山脈の山々などは、瀬戸内海の自然景観と一体をなしています。

さらに、瀬戸大橋や著名な建築家による地中美術館などが、新しい魅力として景観を形成しています。

このように、瀬戸内海は、時代の流れの中で徐々に変化していますが、変わらぬ海原と島々の姿は、人々の心の中の景観（原風景）になっています。

瀬戸内海の多島美景観とは、癒しを感じる海に抱かれて、「重なり合う島々の姿」と「人間の生活の姿」を映し出している景観です。



2. 瀬戸内海の景観のすばらしさ

2-1. 景観の捉え方

瀬戸内海の景観を捉えるにあたり、小豆島及び直島諸島周辺地区をモデル地区として図-2に示すステップに従って瀬戸内海の景観のすばらしさを捉えます。

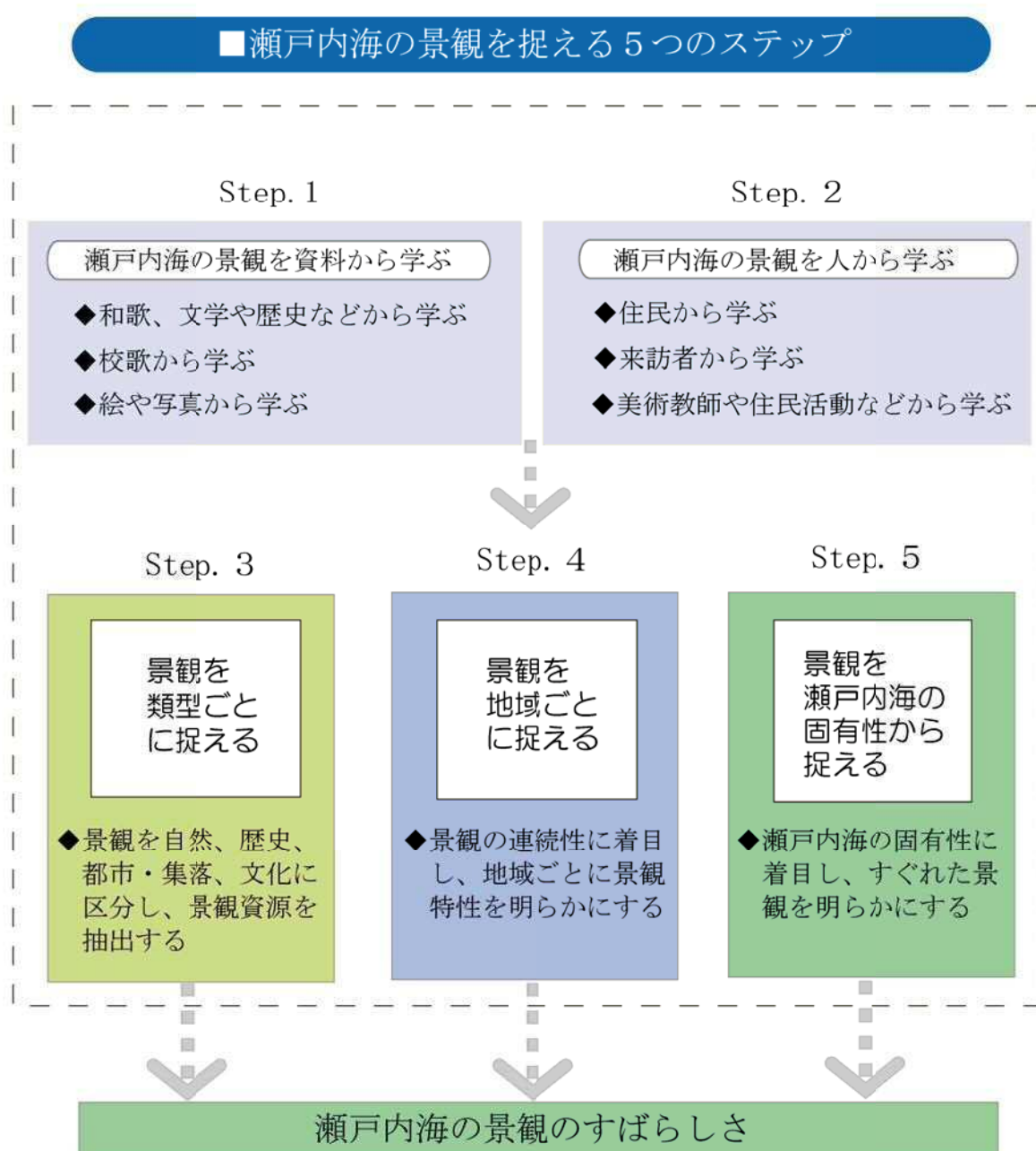


図-2 景観の捉え方

2-2. 瀬戸内海の景観を資料から学ぶ

瀬戸内海の景観について、和歌・文学・歴史・校歌などを調査しました。

(1) 和歌・文学・歴史などから学ぶ

- ・柿本人麻呂は、瀬戸内海を詠んだ和歌の中で、沖、波、海原の広さ、多島、荒磯、波の音、浜辺などを言葉に選んでいます。

【景観に関する和歌の部分】

沖見れば とみ波立ち辺見れば 白波騒く 鯨魚取り
海を畏み 行く船の 梶引き折りて 彼此の島は多けど
名ぐはし 狭岑の島の 荒磯面に廬りて見れば
波の音の 繁き浜辺を ※狭岑の島＝坂出市



- ・若山牧水は、鯛網見物に直島を訪れています。鯛漁など海に関わる人々の活動や多島であること、沖の通り雨を歌に詠んでいます。

ことひきの浜の松風静けしと聞けば沖辺を雨過ぐるなり

- ・尾崎放哉は、小豆島の生活から心の情景を俳句に詠んでいます。



- ・シーボルトは、これまで日本で見た最も美しい景色のひとつとして「落日の光輝く多島美の眺めを楽しんだ」と絶賛しています。

【景観に関する言葉】

美しい島々の眺め 島や岩島の間に見え隠れする本州と
四国の海岸の景色 緑の畑と黄金色の花咲く菜の花畑の
低い丘（農地）農家や漁村が活気を与え（集落景観）
切り立った岩壁に滝が懸かり 常緑の森（山々のみどり）



- ・小説「二十四の瞳」では、岬の分校に着任した大石先生が、小豆島の西村から田浦まで通う姿が描かれています。

「海の色も、山の姿も、そっくりそのまま、
きのうにつづくきょうであった。」

と描かれている景色は、人間が営みを経て年輪を重ねていくなかでも、瀬戸内海の海や小豆島の山はそのままの姿であることを表現しています。



- ・古来から海路の歴史を有しています。
現在もフェリー航路から変わらぬ景色を見ることができます。



- ・古くから信仰の地です。
奇岩あるところに霊場在りと言われるように島内には多くの奇岩と信仰の景を見ることができます。また、隠れキリシタンの歴史もあります。



(2) 校歌から学ぶ

・校歌には、郷土の風景や思いを表す言葉が含まれています。



双子の山
(土庄中学校・土庄高校)



壇の山
(豊島小学校)



青門の山
(瀨崎小学校)



大麻山
(池田小学校)



大嶽
(苗羽小学校)



大嶽からの眺望
(苗羽小学校)



余島の磯
(土庄高校)



千軒の浜辺
(戸形小学校)



小瀬の浜辺
(戸形小学校)



鹿島の磯
(土庄中学校)



神懸
(小豆島高校)



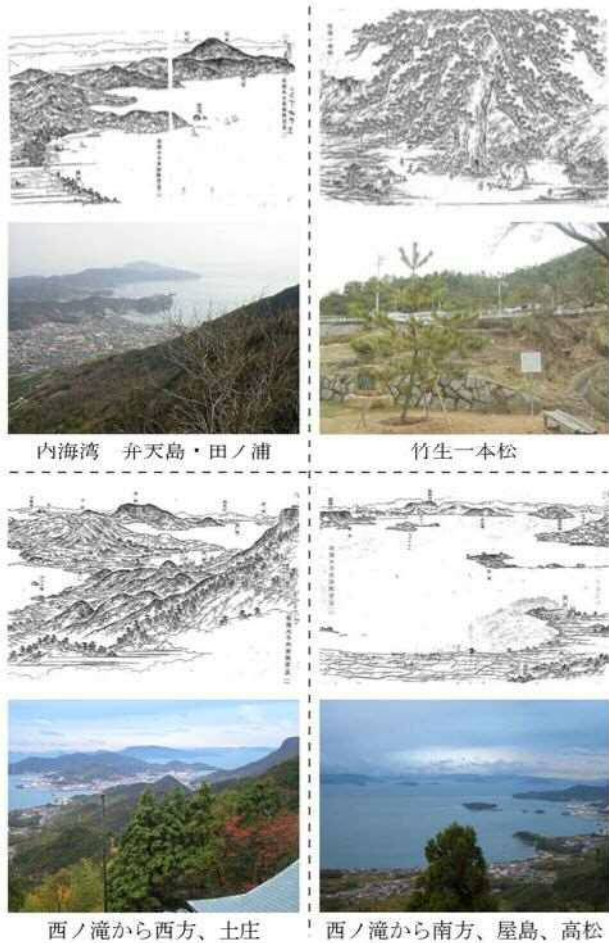
宝生院
(瀨崎小学校)



オリーブ
(小豆島高校)

(3) 絵や写真から学ぶ

- 江戸時代の画家、松川半山の絵図には、山々や浜辺には松が生い茂り、各地で松の大木が島民により守られていたことが描かれています。また、山の上の方まで段々畑として利用されていました。
- 大木は台風などで消失し、植生は変化したものの、今も松林や白砂青松の海岸、段々畑などの風景が残っています。一部では松枯れがめだつところもあります。
- 海には帆掛け船が浮かんでいます。船は近代化されたものの、海に浮かぶ小舟の雰囲気や漁を行う人の活動は変わりません。



- 小豆島在住の画家は、自然に溶け込んだ集落と人々の姿や信仰の姿を高台から描いています。
- また、猪熊弦一郎や東山魁夷などの多くの画家が瀬戸内海に関する絵を描いています。



- 写真家の作品からは、高台からの描写が多く、海に浮かぶ重なり合う島々の姿や穏やかな自然と人の関わりを描いています。



2-3. 瀬戸内海の景観を人から学ぶ

住民や来訪者から、景観に対する気持ちや今後の景観づくりに対する意向などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

また、美術教師や住民団体などからヒアリングを実施しました。

(1) 住民から学ぶ



高台からの景観



浜辺からの眺め

・ほとんどの住民は、瀬戸内海の景観に魅力を感じています。

・観光地として有名な自然景観に加え、身近な高台や浜辺からの眺め、島四国八十八箇所霊場、神社、鎮守の森、農村歌舞伎や祭りの賑わい、古井戸、棚田などの歴史的・文化的な景観、オリーブの木などの身近にある景観を今後も守り育て、子供たちに残したい景観と考えています。



太鼓祭り



農村歌舞伎



オリーブの木

表-1 今後も守り育て、子供たちに残したい景観

	土庄町		小豆島町	直島町
	小豆島	豊島		
自然の景観	・浜辺(エンジェルロード・小瀬海岸など) ・高台からの眺め ・銚子溪と銚子の滝	・高台からの眺め ・壇山などの風景 ・浜辺(宮の浜・神子ヶ浜など)の風景	・寒霞溪周辺 ・浜辺(オリーブビーチ・白浜海岸など)の風景 ・高台からの眺め	・浜辺(琴反地海岸・つり公園など)の風景 ・浜辺からの眺め ・高台からの眺め
歴史的な景観	・島四国八十八箇所霊場 ・神社・鎮守の森	・鎮守の森(豊峰権現のスタジイの森) ・神社(家浦八幡神社など)	・醬の郷 ・神社・鎮守の森(皇子神社など)	・神社・鎮守の森(八幡神社など) ・伝統的な集落(本村など) ・寺院(極楽寺など)
都市、集落の景観	・オリーブの木 ・大坂城残石記念公園 ・土洲海峡	・伝統的建物(片山邸など) ・豊島石採場跡 ・オリーブ農園	・二十四の瞳映画村と岬の分教場 ・オリーブの木 ・小豆島オリーブ公園	・海の駅「なおしま」 ・漁港(積浦港など)の風景 ・本村家プロジェクト
文化的な景観	・祭りのにぎわい(秋の太鼓祭りなど) ・肥土山農村歌舞伎 ・田園風景(肥土山など)	・古井戸や水路(唐櫃の清水など) ・田園風景(唐櫃の棚田など)	・祭りのにぎわい(秋の太鼓祭りなど) ・島四国八十八箇所霊場 ・中山農村歌舞伎・田園風景(中山の千枚田など)	・祭りのにぎわい(八幡神社秋季大祭など) ・伝統的な集落(本村など)

(2) 来訪者に学ぶ

- ・ほとんどの来訪者は、瀬戸内海の景観に魅力を感じており、小豆島は自然景観、直島は文化芸術の島としてのイメージを持っています。
- ・また、寒霞渓周辺、岬の分教場、本村家プロジェクト、地中美術館などの観光地、高台からの眺め、浜辺の風景、オリーブの木などを大切な景観と考えています。
- ・ほとんどの来訪者は、また来たい、知人に勧めたいと考えています。
- ・住民、来訪者ともに、船（フェリー）からの眺め、漁港の風景、港の賑わいなど瀬戸内海特有の景観も大切であると考えています。
- ・一方、神社や鎮守の森など、住民が守り育てたいと考えている身近な歴史的・文化的な景観は、来訪者にはあまり知られていません。



寒霞渓



岬の分教場



本村家プロジェクト



銀波浦

(3) 美術教師や住民団体などに学ぶ

- ・中学校の美術教師は、瀬戸内海の色を「オリーブの葉裏の色」「翡翠の色」と例えています。
- ・中学校の美術教師が好きな風景は、フェリー航路からの風景や桜が咲く高台からの風景、拇指嶽から城ヶ島への眺望などです。
- ・生徒たちは、授業で美しいと感じる場所や好きな場所の景色を選んで、島の観光ポスターを制作しています。
- ・フェリー事業者は、航路からの眺望を大切に考えています。
- ・住民団体は、愛着をもって活動していますが、後継者不足が問題と考えています。



小豆島オリーブ公園



中学生による小豆島観光ポスター

2-4. 景観を類型ごとに捉える

地域の景観資源を、自然の景観、歴史的な景観、都市・集落の景観、文化的な景観の4つに区分し、類型ごとに瀬戸内海の景観を捉えます。

(1) 自然の景観

■名勝

寒霞溪（小豆島町）

- ・寒霞溪（神懸山）は、集塊岩などの差別浸食によって形成された奇岩怪岩の絶景地として名勝に指定されています。



寒霞溪

■自然海岸

銀波浦（エンジェルロード）（土庄町）、神子ヶ浜（土庄町） オリーブビーチ（小豆島町）、琴反地海岸（直島町）など

- ・フェリー航路からは、白砂青松の浜辺などの瀬戸内海の多島美を形成する多くの自然海岸が眺望できます。
- ・銀波浦（エンジェルロード）は、干潮時に島と浜辺がつながり、海と緑が調和した造形美が現れます。
- ・神子ヶ浜は、男木島をはじめ、屋島、五剣山を眺望できる海岸です。
- ・オリーブビーチは、穏やかな内海湾に面し、三都半島、田浦などが眺望できます。
- ・琴反地海岸は、瀬戸内海の島々と屋外芸術作品やふるさと海の家「つつじ荘」が調和した白砂青松の浜辺です。



銀波浦（エンジェルロード）



神子ヶ浜



オリーブビーチ



琴反地海岸

■ 島なみ・半島・岬

直島諸島（直島町）・三都半島（小豆島町）・戸形崎（土庄町）など

- ・瀬戸内海に浮かぶ大小の島々が多島美を形成しています。
- ・寒霞溪、高見山、壇山、高原城跡などからは、瀬戸内海の多島美を一望できます。
- ・フェリー航路からは、豊島、小豊島、直島、井島などの島なみや、戸形崎、三都半島などの半島・岬をみることができます。



寒霞溪からの島なみの眺望



皇踏山からの島なみの眺望



直島からの島なみの眺望

■ 山なみ

星ヶ城山（小豆島町）、碁石山（小豆島町）、拇指嶽（小豆島町）
皇踏山（土庄町）、壇山（土庄町）、地藏山（直島町）など

- ・小豆島で最高峰の星ヶ城山のほか、碁石山、拇指嶽などが山なみの景観を形成しています。
- ・土庄港からは皇踏山の山なみが一望できます。
- ・壇山は豊島の最高峰で、島の山なみの中心となっています。
- ・地藏山は直島の中央に位置し、穏やかな山なみを形成しています。



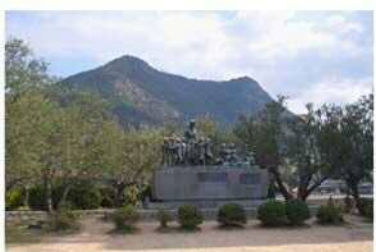
星ヶ城山



碁石山



拇指嶽



皇踏山



壇山



地藏山

(2) 歴史的な景観

■ 史跡などの歴史的な景観

大坂城石垣石切丁場跡（土庄町・小豆島町）、富丘古墳群（土庄町）
喜兵衛島製塩遺跡（直島町）など

- ・大坂城石垣石切丁場跡は小豆島内に多く残されています。土庄町には、とび越丁場跡、小瀬原丁場跡、千軒丁場跡があり、小豆島町には、岩谷丁場跡、大坂城用残石及び番屋七兵衛屋敷跡などがあります。
- ・富丘古墳群は、小豆島で最大規模の古墳群です。
- ・喜兵衛島には、喜兵衛島製塩遺跡があります。



大坂城残石公園



大坂城石垣石切丁場跡



富丘古墳群

■ 寺社の歴史的な景観

島四国八十八箇所霊場（土庄町・小豆島町）、八幡神社（土庄町・小豆島町・直島町）、極楽寺（直島町）など

- ・島四国八十八箇所霊場は、弘法大師ゆかりの札所で、88箇所の霊場、奥之院6箇所があります。
- ・宝生院の境内にあるシンパクは樹齢2000年といわれ、天然記念物に指定されています。
- ・明王寺の釈迦堂は重要文化財に指定されています。
- ・誓願寺の境内にあるソテツは、天然記念物に指定されています。



島四国八十八箇所霊場観音寺



宝生院とシンパク



明王寺釈迦堂

- ・八幡神社が小豆島、豊島、直島にあります。
- ・極楽寺は、本堂、鐘楼が町文化財に指定されています。



誓願寺とソテツ



八幡神社（本村）



極楽寺

■その他歴史的な景観

棧敷（土庄町・小豆島町）、しし垣（小豆島町）、城跡（土庄町・小豆島町・直島町）など

- ・小豆島の各地域の八幡神社には、石垣による棧敷があり、池田の棧敷は重要有形民俗文化財に指定されています。
- ・しし垣は、かつては小豆島に広くつくられていましたが、残されているものは少なく、長崎のしし垣は江戸時代の状態を残しています。
- ・星ヶ城山や皇踏山には土塁や空堀などの南北朝時代の城跡があります。
- ・直島町の本村には、戦国時代高原氏が築いた高原城跡があります。



池田の棧敷



長崎のしし垣



星ヶ城山

(3) 都市・集落の景観

■ 港の景観

土庄港（土庄町）、池田港、草壁港（小豆島町）、宮浦港（直島町）など

- ・ 土庄港は、小豆島の玄関口として多くのフェリーや高速艇が行き交う港です。
- ・ 池田港には祭りをイメージした旅客施設があります。
- ・ 草壁港には地中海をイメージした旅客施設があります。
- ・ 宮浦港は、直島の玄関口として多くの乗降客があり、海の駅「なおしま」があります。



土庄港



池田港



草壁港



宮浦港

■ 美術館・記念館・屋外芸術作品の景観

地中美術館（直島町）、尾崎放哉記念館（土庄町）、岬の分教場（小豆島町）
屋外芸術作品（土庄町・小豆島町・直島町）など

- ・ 地中美術館は、周辺の自然環境と調和するようデザインされています。
- ・ 尾崎放哉記念館は、「迷路のまち」の古いまちなみの中にあります。
- ・ 二十四の瞳の舞台となった岬の分教場があります。
- ・ 数々の屋外芸術作品が直島、小豆島の公共の場に展示されています。



尾崎放哉記念館



岬の分教場



地中美術館



屋外芸術作品

■ まちなみの景観

迷路のまち（土庄町）、醬の郷（小豆島町）、本村家プロジェクト（直島町）など

- ・「迷路のまち」では、西光寺の門前町を中心とした古いまちなみと路地を活かしたまちづくりが進められています。
- ・「醬の郷」では、地場産業である醤油の製造工場を活かしたまちづくりが進められています。
- ・本村家プロジェクトでは、本村地区のまちなみを活用し、修復した古い民家やそこに展示したアートを活かしたまちづくりが進められています。



迷路のまち



醬の郷



本村家プロジェクト

■ 農山漁村の景観

小江の漁村（土庄町）、肥土山・中山の農村（土庄町・小豆島町）
唐櫃の農村（土庄町）、積浦の漁村（直島町）など

- ・小江の漁村には、黒板壁の連続したまちなみと漁港、沖之島との渡船の景観が広がっています。
- ・肥土山・中山の農村には、棚田、歌舞伎舞台、集落が一体となった景観が残っています。
- ・唐櫃の農村には、唐櫃の清水を中心に、棚田と集落が一体となった景観が残っています。
- ・積浦の漁村は、黒板壁の民家と漁港が一体となった漁村の景観がみられます。



小江の漁村



中山の農村



唐櫃の農村

(4) 文化的な景観

■ 信仰上の活動から生まれた文化的な景観

島四国八十八箇所霊場遍路（土庄町・小豆島町）など

- ・島四国八十八箇所霊場遍路は、小豆島に点在する霊場を巡る150kmの巡礼路です。



54番 宝生院

■ 生活から生まれた文化的な景観

中山千枚田（小豆島町）、醬の郷（小豆島町）など

- ・中山千枚田の棚田などは、地域の生活から生まれた地域特有の資源です。
- ・「醬の郷」の醤油蔵が立ち並ぶ風景は、地場産業を継承する文化的な景観です。



中山の千枚田



醬の郷

唐櫃の清水（土庄町）、湯船の水（小豆島町）など

- ・「唐櫃の清水」や「湯船の水」は、古くから生活用水として大切に利用され、人々の手により守られてきた生活景です。



唐櫃の清水



湯船の水

ゲタ干し（土庄町・小豆島町・直島町）、そうめん天日干し（土庄町・小豆島町）

- ・ゲタ干しやそうめん天日干しは、古くから人々の生活の中で引き継がれてきた生活景です。



ゲタ干し



そうめん天日干し

■伝統的な風習

太鼓祭り（土庄町、小豆島町）、虫送り（土庄町）、安田おどり（小豆島町）
八幡神社秋季大祭（直島町）など

- ・太鼓祭りは、小豆島で広く行われています。
- ・虫送りは、肥土山で300年続く夏の風物詩で、稲の害虫を追い払い豊作を祈る行事です。



太鼓祭り



虫送り



八幡神社秋季大祭

■伝統芸能

農村歌舞伎（土庄町、小豆島町）、直島女文楽（直島町）など

- ・小豆島農村歌舞伎は、かつては小豆島を中心に広く行われてきましたが、現在は肥土山と中山で行われています。
- ・直島女文楽は一度途絶えましたが、地元有志が昭和23年に復活させ、現在に続いています。



肥土山の農村歌舞伎



中山の農村歌舞伎



直島女文楽

■文学碑

尾崎放哉文学碑（土庄町）、壺井栄文学碑（小豆島町）
若山牧水文学碑（直島町）など

- ・小豆島出身の壺井栄、壺井繁治、黒島伝治や小豆島を終焉の地とした尾崎放哉、直島を訪れた若山牧水などの文学碑が眺望のよい公園などに置かれています。



尾崎放哉文学碑



壺井栄文学碑



若山牧水文学碑

2-5. 景観を地域ごとに捉える

小豆島及び直島諸島周辺のモデル地区を、図-3に示すように区分し、それぞれの地域ごとに景観を捉えます。

(1) 地域区分

■エリアA：ダイナミックで独立した大景観を持つエリア

小豆島は、自然と都市・集落のスケールが大きいエリアです。

小豆島は、星ヶ城山などをピークとする稜線で東西南北の4つにゾーン区分できます。

また、大きく突き出た三都半島、田ノ浦半島により、二つの湾が形成されています。

さらに島の規模も大きく、大きなまちが形成されています。



■エリアB：変化に富む景観を有し、お互いの島の景観上の関わりが強いエリア

直島諸島は、新旧の景観が調和した多彩な景観を有しているエリアです。

直島諸島は、山の高さや自然度の違いなどから「直島」と「豊島、小豊島」の2つにゾーン区分できます。

エリアは、中小の島の間を水道が通っています。

また、島の規模が小さいことから、自然景観のスケールはエリアAに比して小さく、まちも小規模です。



図-3 エリア区分

(2) ゾーンごとの景観特性

■エリアA：A-1ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「四方指から双子の山（高見山・大麻山）や地藏崎への2つの稜線と、深い谷、三都半島、広がる大きな湾、土庄と池田の二つの大きな市街地」です。
- ・その中に、世界一狭い土渕海峡、池田の港、海と山に溶け込んだ漁港、集落が点在しています。
- ・多くの来訪者が訪れる銀波浦（エンジェルロード）や小豆島ふるさと村などの景観資源に加え、山では眺望のすぐれる西の滝、海では鹿島の磯や千軒の浦、白浜海岸などの景勝地があります。
- ・大きな池田湾に沿って多様な自然と人が溶け込んでいる地域です。



高見山



大麻山



銀波浦（三都半島を望む）



図-4 エリアA：A-1ゾーン

■エリアA：A-2ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「星ヶ城山を主峰とする山々、三都半島と碁石山、内海湾、湾を二つに分ける岬、大きな内海の市街地」です。
- ・その中に、草壁の港、海と岬に溶け込んだ漁港、集落が点在しています。
- ・多くの来訪者が訪れる寒霞溪、岬の分教場、醬の郷、オリーブ公園などの景観資源に加え、地蔵崎の白浜灯台、家なみなど、美しい自然景観や集落の景観を多く有しています。
- ・寒霞溪や碁石山の圧倒的な山容と、二つの湾を仕切る岬などにより1つ1つの景観にスケールの大きさを感ずる地域です。



寒霞溪からの眺望



醬の郷



醬の郷



小豆島オリーブ公園



碁石山



坂手の家並み



白浜灯台



図-5 エリアA：A-2ゾーン

■エリアA：A-3ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「南北方向に長い海岸線と急峻な山々、複雑に入りくんだ崎と鼻、東に広がる大海原」です。
- ・その中に、拇指嶽山麓にある橘漁港、北の福田港、小さな集落と小さな漁港が点在しています。
- ・来訪者の立ち寄る南風台などからの瀬戸内海への眺望が魅力の地域です。



大海原



橘漁港



南風台



吉田漁港



図-6 エリアA：A-3ゾーン

■エリアA：A-4ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「皇踏山などの山容、島の北側、東西方向の長く変化に富む海岸線、土庄の市街地、深く切れ込んだ入江に賑わいを見せる土庄港」です。
- ・海と岬と里山に溶け込んだ小瀬、小江、見目、田井、小部などの漁港や集落が海岸沿いに張り付くように点在しています。
- ・玄関口としての土庄港、昔の地割りが残る漁村集落、銚子溪、肥土山や中山の棚田、農村歌舞伎など、自然景観や都市・集落景観、歴史的・文化的景観を多く有している地域です。



皇踏山



土庄港



地割りが残る漁村集落



銚子溪



小江漁港



図-7 エリアA：A-4ゾーン

■エリアB：B-1ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「豊島と小豊島、水道」です。
- ・豊島の東海岸からは、小豆島を小豊島とともに臨むことができる美しいパノラマが広がり、南海岸からは四国の山容や瀬戸大橋が眺望できます。
- さらに壇山からは、直島とともに塩飽諸島などの多島美景観が眺望できます。
- ・海と里山に溶け込んだ家浦や甲生などの集落が壇山の裾野に散在しています。
- ・来訪者も少なく、豊かな自然、神社や古井戸など本物の景観と人々の生活が溶け込んでいる地域です。



唐櫃港



壇山



唐櫃の農村



唐櫃の棚田



甲生の古木



オリーブ農園から小豆島、小豊島を望む



図-8 エリアB：B-1ゾーン

※「本物の景観」とは、長い歴史の中で変わらない姿を留め、他にない個性を持った地域の特徴ある景観をいいます。また、そこに住む人がその価値を認めたものです。

■エリアB：B-2ゾーン

- ・景観の骨格を成すのは、「多島と水道、小山のような島々」です。
- ・本村の集落、賑わいを見せる宮浦港、島の北にある事業所など、港、集落等を有しています。
- ・琴反地海岸などの自然景観、多くの来訪者が訪れる地中美術館、本村のまちなみなどの都市・集落景観に加え、歴史を有する神社、鎮守の森などの歴史的・文化的な景観を有している地域です。



宮浦港の屋外芸術作品



本村家プロジェクト



琴反地海岸



地中美術館



図-9 エリアB：B-2ゾーン

2-6. 景観を瀬戸内海の固有性から捉える

瀬戸内海は、四国側からも本州側からも見られる360度開かれた景観です。また、本物の歴史・文化が残っています。このような瀬戸内海の固有性から景観を捉えます。

(1) 内海多島の珠玉の景観

- ・万葉の昔から、多くの歌人に詠まれ、シーボルトも絶賛した「内海多島と背景の山々が重なり合う」美しさです。



- ・翡翠のように微妙に変化し、自然が織りなす「空と海と島のシルエット」の美しさです。



- ・松川半山の「小豆島名所図絵」など多くの画家や写真家が切り取った、「高台から海を見下ろし、自然に人間の生活が溶け込んだ」景観です。



(2) 横と縦の移動により刻々と変化する景観

- ・フェリー航路や島内の道路から眺める重なる島々や山容が「刻々と変化する」美しさです。



- ・標高の変化により見えなかった島々が見渡せる驚きと、「大景観が連なる荘厳な」美しさです。



(3) 自然と歴史・文化、人々の営みが織りなす景観

- ・古来から海と島に生きてきた人々の営みが織りなす農業、漁業、産業の姿です。



- ・昔の地割りが残る路地、社寺や井戸、集落の石積みなど、長い歴史の中で守られてきた「本物の景観」です。



- ・島四国八十八箇所巡りのお遍路さん、農村歌舞伎、地区の祭り、山あてなどの航海技術に使われる特異な山容、棚田や段々畑、「自然と歴史と人々の営みが織りなす地域固有の文化が息づく姿」です。



- ・行き交うフェリーや大小の船、小さな漁港に係留された小舟、来訪者をいざなう港の姿です。



(4) 昼と夜に煌めく景観

- ・海に煌めく太陽と月、天上に煌めく満天の星、潮風に揺れるオリーブの葉の煌めき、本州や四国の街や工場や橋の煌めき、島内の街や港や灯台が放つ光など宝石の煌めきのような景観です。



2-7. 瀬戸内海の景観づくりの問題と課題

(1) 「まもる」「そだてる」視点

- ・住民が景観について学んだり、自分たちのまちや暮らしについて考えたりする機会を設け、景観に対する意識や自分たちのまちへの誇りをそだてる取り組みが必要です。
- ・地域の個性である歴史・文化を表す「本物の景観」を住民の手によってまもる取り組みが必要です。
- ・住民、事業者・住民団体、行政などが連携し、景観づくりの活動に参加する人々の輪を広げ、活動の継続を支えそだてていくことが必要です。
- ・景勝地やフェリー航路などから見える眺望をまもるために、新たな開発について、開発者と住民、行政などが計画の段階から協議するための仕組みづくりが必要です。



棚田



漁村集落



まちなみ

(2) 「ととのえる」「つくる」視点

- ・住民が共有する空間には、地域の誇りとなるような景観をつくるための仕組みづくりが必要です。
- ・松枯れや自然災害などにより損なわれた景観をととのえるために、住民、事業者・住民団体、行政などが一体となって復旧や復元に取り組むことが必要です。
- ・屋外広告物の乱立を防ぎ、瀬戸内海にふさわしい景観をつくるため、地域の景観に調和するようなデザインや設置についてのルールづくりが必要です。
- ・耕作地や山林の放棄、廃屋やゴミの投棄などによって損なわれている景観をととのえるために、住民、事業者・住民団体、行政などが一体となって改善に向けて話し合いを行う仕組みづくりが必要です。



廃業したリゾート施設



島の稜線を崩す建物



ゴミの投棄



大規模な採石場



山火事の跡地

3. 瀬戸内海の景観づくりの基本理念・目標

瀬戸内海は、美しい多島景観を有し、国立公園に指定されています。この景観は穏やかな海に浮かぶ島々や背景を成す讃岐山脈などが行政界を越えて連担し、島しょ部からだけでなく海上や本州、四国からも眺望の対象となります。

また、瀬戸内海の自然や歴史・文化は、住民の手によって守られており、本物の景観となっています。しかし、地域のコミュニティが人口減少や高齢化により衰退し景観の維持は困難になっています。

このような瀬戸内海の特徴を踏まえ、瀬戸内海の景観の将来像として基本理念・目標を定めます。

3-1. 基本理念・目標

景観づくりの基本理念

■瀬戸内海特有の自然、歴史・文化の継承と新たな魅力の創出

- ・古くから住民の手によって守られてきた自然や歴史・文化の「本物の景観」を保全し、継承するとともに、新たに美しく魅力あふれる景観を創出し、瀬戸内海の価値を高めることが重要です。

■地域コミュニティの活性化やさまざまな交流による自立した地域の創出

- ・住民が本物の景観に気づき、その価値を自覚するとともに、その価値を多くの人と共有することが重要です。
- ・住民の景観への意識の醸成や主体的な景観づくりの活動によって、地域コミュニティが活性化します。住民の手によって守られた「本物の景観」は、国内外の人々の来訪を促し、地域間の交流を活発化させます。
- ・自立した地域の形成・発展の第一歩となるよう、自発的な景観づくりの活動を促すような啓発や支援、仕組みづくりが重要です。

■住民、事業者・住民団体、行政などの連携による瀬戸内海にふさわしい景観づくり

- ・すばらしい景観は、その地域の魅力の向上だけでなく、広域的に瀬戸内海全体としての魅力を高めます。瀬戸内海にふさわしい景観のづくりに向けて、住民、事業者・住民団体、行政などが連携し、一体的に取り組むことが重要です。

景観づくりの目標

あたたかさと歴史・文化が育み、
重なり合う島々と海と人々の姿が織りなす、
美しい瀬戸内海を未来へ

4. 景観づくりの指針

4-1. 瀬戸内海の景観づくりの指針

基本理念・目標から、瀬戸内海全体の景観づくりの方向性を示します。

○ あたたかさ

- ・瀬戸内海の穏やかな気候や風土に育まれた農村、漁村、オリーブ園、ミカン畑などの瀬戸内海らしい景観や、来訪者をもてなす人々の交流によって生まれる心温まる景観など、あたたかさが感じられる景観づくりを目指します。

○ 歴史と文化

- ・瀬戸内海は、海路としての固有の歴史・文化の景観や、棚田や農村歌舞伎、地割りが残る路地など人々の手によって守られている「本物の景観」を有しています。目に見える景観だけでなく、歴史的・文化的な価値を住民が学び、そのすばらしさに気づき、誇りに感じる景観づくりを目指します。

○ 重なり合う島々と海と人々の姿が織りなす

- ・瀬戸内海の多島美は、四季折々、朝に夕に表情を変え、穏やかな海に浮かぶ島々や、背景を成す讃岐山脈などの特異な山容の景観が重なり合って生み出される景観です。
- ・これら珠玉の景観は行政界を越え連担していることから、行政界を越えた連携により、瀬戸内海にふさわしい景観づくりを目指します。

○ 美しい

- ・瀬戸内海らしい景観づくりを行うことで、「美しい瀬戸内海」を目指します。



4-2. 類型ごとの景観づくりの指針

〈自然の景観〉

■内海多島美の瀬戸内海の特徴を活かした自然の景観づくり

- ・瀬戸内海の360度開けた特徴を活かした美しい自然の景観づくりを目指します。
- ・フェリー航路や景勝地などからの眺望をまもる景観づくりを目指します。
- ・松枯れや自然災害などにより損なわれた景観をととのえる景観づくりを目指します。

〈歴史的な景観〉

■地域の歴史・風土を継承する歴史的な景観づくり

- ・史跡、寺社、石垣などの歴史的な景観をまもる景観づくりを目指します。
- ・「本物の景観」の価値を認識し、まもり、継承する景観づくりを目指します。

〈都市・集落の景観〉

■魅力ある生活空間を演出する都市・集落の景観づくり

- ・島の玄関口となる港を中心としたにぎわいある景観づくりを目指します。
- ・美術館・記念館・屋外芸術作品などを活かした魅力ある景観づくりを目指します。
- ・伝統的なまちなみ、農山漁村の特徴を活かした景観づくりを目指します。
- ・住民が共有する空間には、地域の誇りとなるような景観づくりを目指します。

〈文化的な景観〉

■人の生活と活動を伝える文化的な景観づくり

- ・人の生活や活動から生まれた文化的な景観をまもり、継承する景観づくりを目指します。
- ・棚田や地場産業である醤油づくりなどを活かした文化的な景観づくりを目指します。

4-3. 地域ごとの景観づくりの指針

〈A-1ゾーン〉

■ 煌めく瀬戸内海の風景を守り育てる景観づくり

- ・フェリー航路や銀波浦から見える山並みと三都半島や池田湾の美しい自然景観を保全し、自然と調和した景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の出現防止を目指します。

〈A-2ゾーン〉

■ 寒霞溪からの眺望を未来に伝える景観づくり

- ・フェリー航路や寒霞溪などの景勝地から見える山並みや半島など、スケールの大きな自然景観を保全し、自然と調和した美しく個性豊かなまちや集落の景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の出現防止を目指します。

〈A-3ゾーン〉

■ 雄大な瀬戸内海の眺望を活かした景観づくり

- ・東海岸の雄大な眺望と豊かな自然を活かし、自然に溶け込んだ漁村集落や幹線道路沿道の景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の修復、出現防止を目指します。

〈A-4ゾーン〉

■ 土庄の顔と歴史・文化に磨きをかける景観づくり

- ・北海岸の本州側への眺望と豊かな自然景観、棚田などの文化的な景観を保全、活用し、自然に溶け込んだ農山村集落や路地などを残す漁村集落などの景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の修復、出現防止を目指します。



図-10 地域区分（エリアA）

〈B-1ゾーン〉

■瀬戸内海の「本物の景観」を守り育てる景観づくり

- ・豊島などに残る豊かな自然と、その自然に溶け込んだ歴史的・文化的な景観や集落の景観などを保全、活用し、静けさと癒しが感じられる景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の修復、出現防止を目指します。

〈B-2ゾーン〉

■自然と調和し歴史と芸術文化の香る景観づくり

- ・自然に調和した新旧の景観を保全、活用し、自然と歴史・芸術文化が融和した芸術の島にふさわしい景観づくりを目指します。
- ・開発などによる景観阻害要因の修復、出現防止を目指します。



図-11 地域区分 (エリアB)

4-4. 景観保全の指針

地域をイメージづける「自然景観」、住民が未来へ伝えたいと考えている「棚田」、地域固有の景観である「路地」からみる景観保全の考え方を示します。

(1) 「自然景観」からみる景観保全の考え方

- ・自然公園法や森林法などの他法令の規制がない区域があります。
- ・森林や農地の開発は瀬戸内海の景観を損ねる場合があります、保全にむけてのルールづくりが必要です。

■現在



■何もしなかった場合の例



(2) 「棚田」からみる景観保全の考え方

- ・高齢化や後継者の不在により身近な景観が失われつつあります。
- ・これらの景観を守るためには、住民の景観に対する意識の向上や、地域コミュニティの活性化が必要です。

■現在



■何もしなかった場合の例



(3) 「路地」からみる景観保全の考え方

- ・地割りの残る路地を守るためには、住民などの景観に対する価値観を高めていく取り組みが必要です。

■現在



■何もしなかった場合の例



5. 景観づくりの取り組み

5-1. 景観づくりに向けた取り組みの方向性

(1) 取り組みの方向性

- ・景観を「まもる」
これまで培ってきた瀬戸内海特有の歴史的・文化的な景観や島なみ、山なみ、自然海岸などの自然の景観をまもります。
- ・景観を「そだてる」
景観づくりの主役である住民などの意識をそだて、生活の営みや島の特色と歴史・文化のなかで景観をそだてます。
- ・景観を「ととのえる」
住民の一人ひとりが景観に配慮するとともに、景観阻害要因を認識し、瀬戸内海などの周辺環境との調和によって良好な景観をととのえます。
- ・景観を「つくる」
住民、事業者・住民団体、行政などによる一体的な取り組みにより、地域の誇りとなる景観をつくります。

(2) 景観づくりの主体

- ・景観づくりの主体は、瀬戸内海のすべての住民、事業者・住民団体、行政などです。これらの主体が協力、連携し、景観づくりに取り組みます。
- ・その中でも、地域で生活し、活動している住民などが景観づくりの主役です。

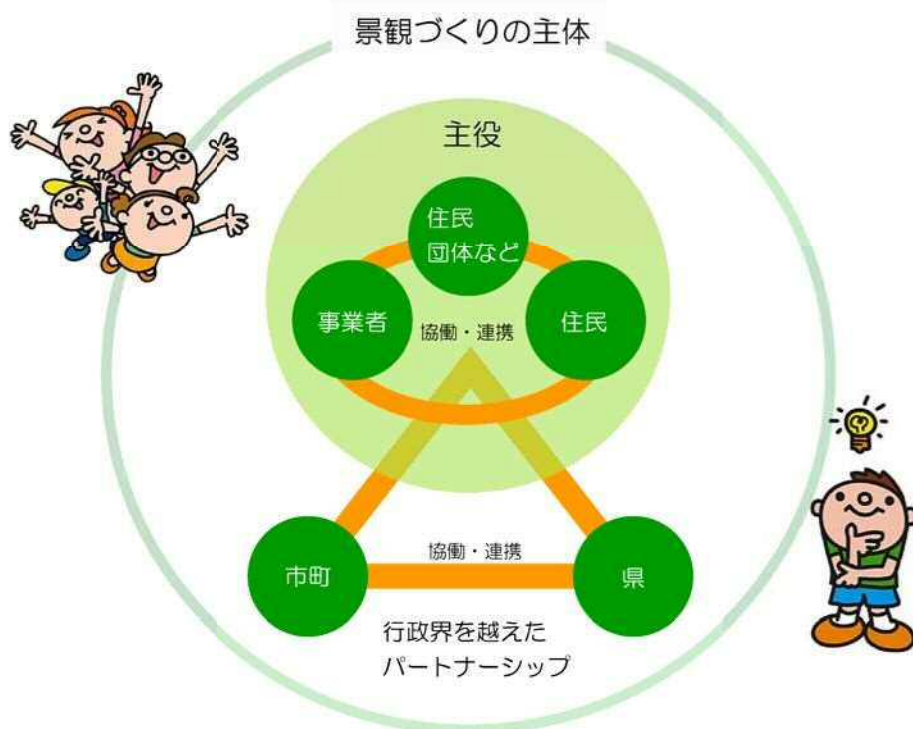


図-12 景観づくりの主体

(3) 各主体の役割

■住民の役割

- ・身近な景観を形成する主体として、建築物の形態・意匠や生垣など地域と調和した景観づくりを担います。
- ・地域の歴史・文化への認識を深め、地域らしい景観づくりに努めます。
- ・美しい景観づくりへ主体的に参加するよう努めます。
- ・行政が行う景観づくりの施策や公共事業に対し関心をもち、積極的に協力するよう努めます。



■事業者・住民団体などの役割

- ・建築物や屋外広告物等の形態・意匠など地域と調和した景観づくりに努めます。
- ・法・条例などを遵守し、住民や行政が行う景観づくりに関心を持ち、積極的に協力するよう努めます。
- ・住民と協働し地域の景観づくりに積極的に参加するよう努めます。



■市町の役割

- ・地域の特性を活かした景観行政を推進し、住民などとともに地域の良好な景観づくりに主体的に取り組む役割を担います。
- ・瀬戸内海の景観づくりについて、県や関係機関と連携を図る役割を担います。
- ・住民などの主体的な活動を支援する役割を担います。
- ・ワークショップや景観探検、勉強会などの実施により、住民などの景観意識の向上を図る役割を担います。
- ・公共施設の設置者・管理者として、景観に配慮した施設整備の促進に努めます。



■県の役割

- ・広域的な観点から景観づくりの方向性を示す役割を担います。
- ・市町の積極的な景観への取り組みを促進し、景観計画の策定などを支援するとともに、市町間の景観計画や関連施策の調整を行う役割を担います。
- ・シンポジウムや講演会などの開催により、市町や県民などの景観意識の向上を図る役割を担います。
- ・公共施設の設置者・管理者として、景観に配慮した施設整備の促進に努めます。



6. 景観づくりの進め方

6-1. 景観計画の策定

(1) 景観計画とは

景観計画は、景観づくりを総合的に進めるための計画です。

景観計画の策定は、市町が主体的行動として行う景観づくりの第一歩です。一般的に図-13のフローによって進めます。

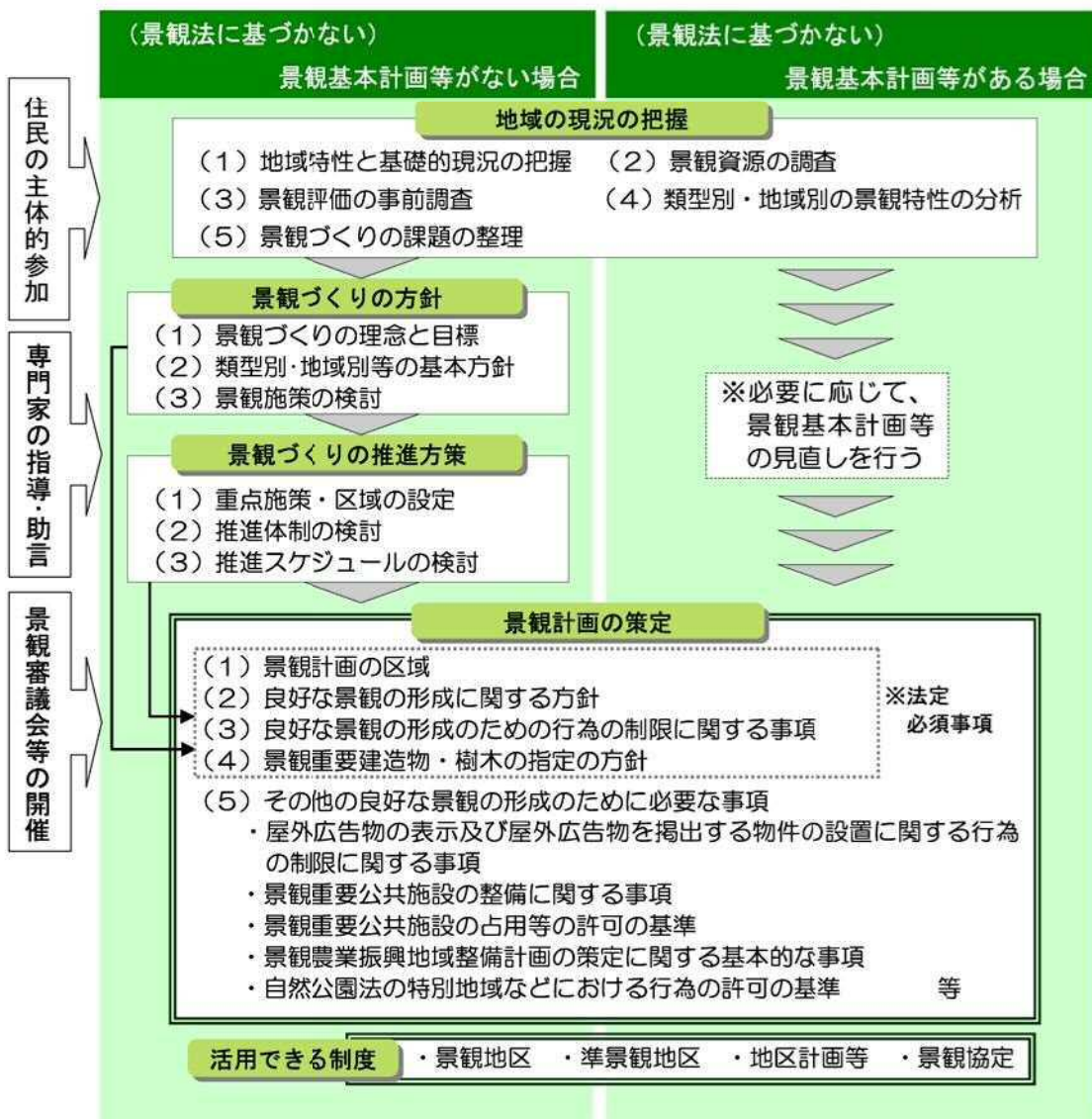


図-13 景観計画策定フロー

(2) 景観計画の内容の基本的な考え方

景観計画には景観計画の区域、良好な景観の形成に関する方針、良好な景観の形成のための行為の制限などを定めます。

以下に、それらの基本的な考え方を示します。

1) 景観計画の区域

景観計画の区域は、原則として市町の行政区域全域とします。

ただし、自然公園法や森林法などの他法令の規制により景観が保全されることが確実な区域は除くことができます。

2) 良好な景観の形成に関する方針

良好な景観の形成に関する方針は、「4. 景観づくりの指針」に基づき、各市町の特성에応じて定めます。

3) 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

良好な景観の形成には、建築物、工作物や開発行為などに対する規制・誘導が必要です。

建築物や工作物においては、建築物の規模などの届出対象や形態、色彩などの意匠、高さや壁面の位置の制限などの基準を定めます。

また、開発行為においては、届出対象や土地利用、緑化などの基準を定めます。

届出の対象や基準などを定めるにあたり、景観計画の区域全体と重点的に景観づくりを行う区域を区分して定めることができます。

(重点的に景観づくりを行う区域の例示)

- ・フェリー航路や景勝地から眺望の対象となる区域
- ・歴史的な背景を有した「本物の景観」や農村歌舞伎、祭りなど後世に継承すべき文化的な景観を有する区域
- ・伝統的な地割りが残る区域

次に、色彩と高さの制限に関する考え方を示します。

●色彩の制限の考え方

- ・建造物の色彩に原色などを使用すると自然の中に突出した景観を生み出します。建造物や看板などについて色彩の制限を定めます。

■現在



■何もしなかった場合の例



●高さの制限の考え方

- ・建造物の高さは、景勝地やフェリー航路からの眺望に大きく影響します。背景となる自然景観などを阻害しないよう、高さの制限について定めます。

■現在



■何もしなかった場合の例



4) 景観重要建造物・樹木の指定の方針

地域に広く認知された良好な景観の核となっている建築物や樹木を指定の対象とします。ただし、文化財保護法により文化財などに指定されたものは指定できません。



風格を感じる民家



歴史ある建築物



ランドマークとなる樹木



5) その他の良好な景観の形成のために必要な事項

屋外広告物の規制や、道路・港湾などの景観重要公共施設の整備・占用許可、国立公園内の建築物・工作物・広告物などの許可の基準などを定めます。



デザインされた屋外広告物



景観重要公共施設の整備

6-2. 景観計画等策定の体制づくり

景観計画などの策定における市町の体制などを図-14に例示します。景観法に基づかない市町の景観基本計画などがある場合は、すでにある「景観審議会」などを活用します。

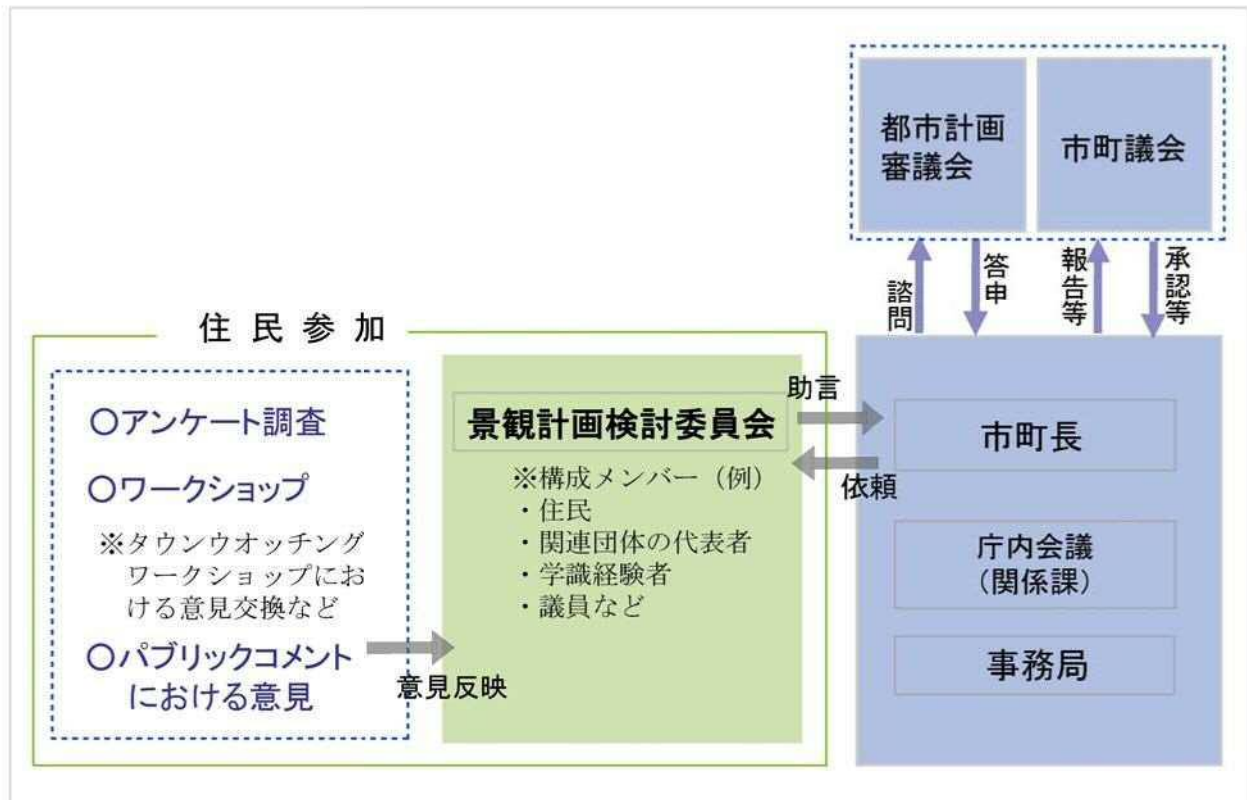


図-14 景観計画策定及び景観条例制定の体制（例示）



シンポジウムへの参加



タウンウォッチングへの参加



ワークショップでの意見交換・発表



景観計画検討委員会のイメージ

6-3. 景観計画等策定のスケジュール

景観計画策定及び景観条例制定の基本的流れとスケジュールを図-15に例示します。
 なお、景観法に基づかない景観基本計画などがある場合は、景観基本計画などの変更を行います。この場合「検討委員会」は「景観審議会」などとなり、回数及び検討内容が異なります。また、住民の意見の反映方法も変更内容により異なります。

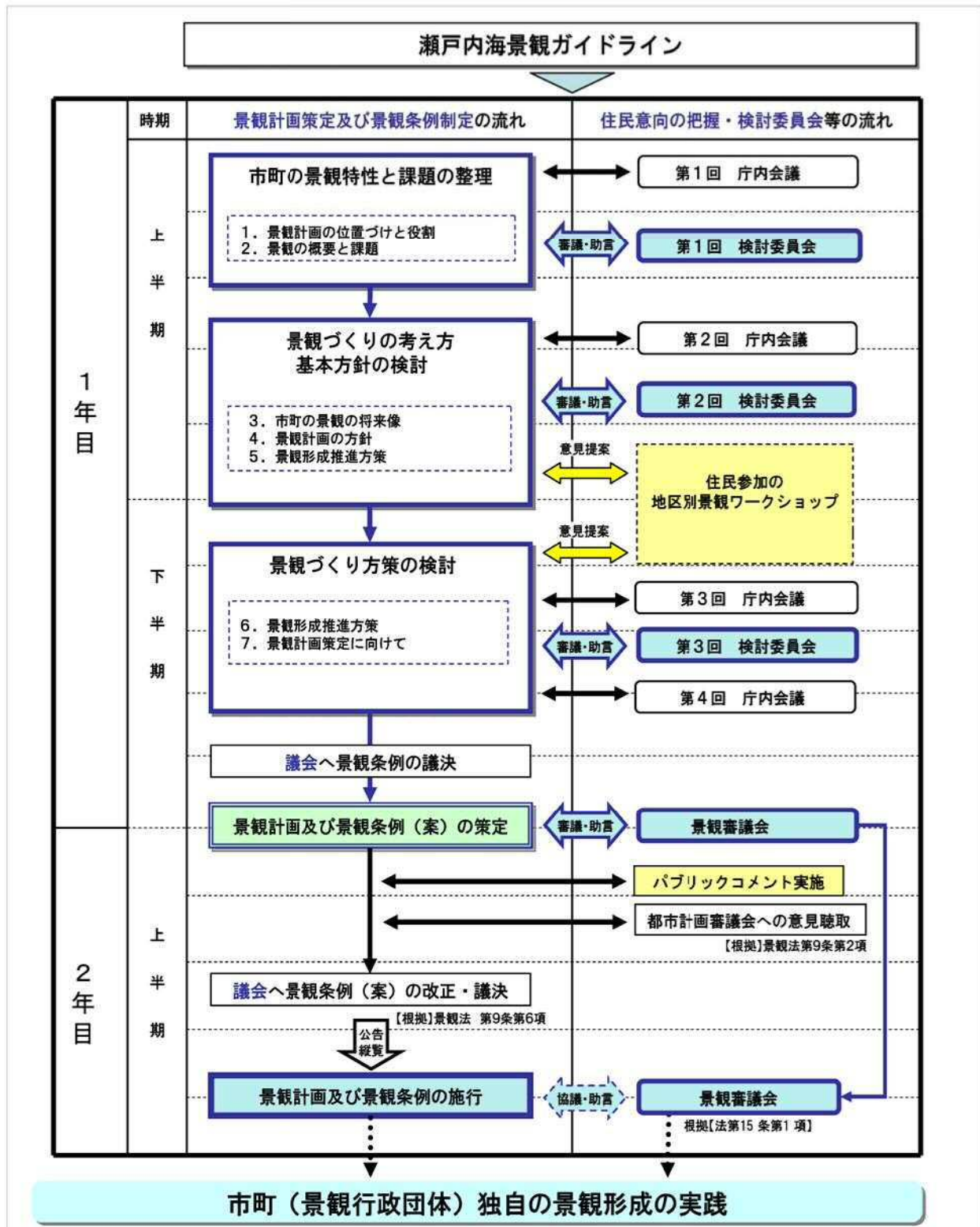


図-15 景観計画等策定のスケジュール（例示）

6-4. 住民が主役の景観づくり

景観づくりの主役はすべての住民です。住民が主役の景観づくりは図-16や図-17に示すように市町、県などの行政と事業者や住民団体などが一体となって進めていきます。

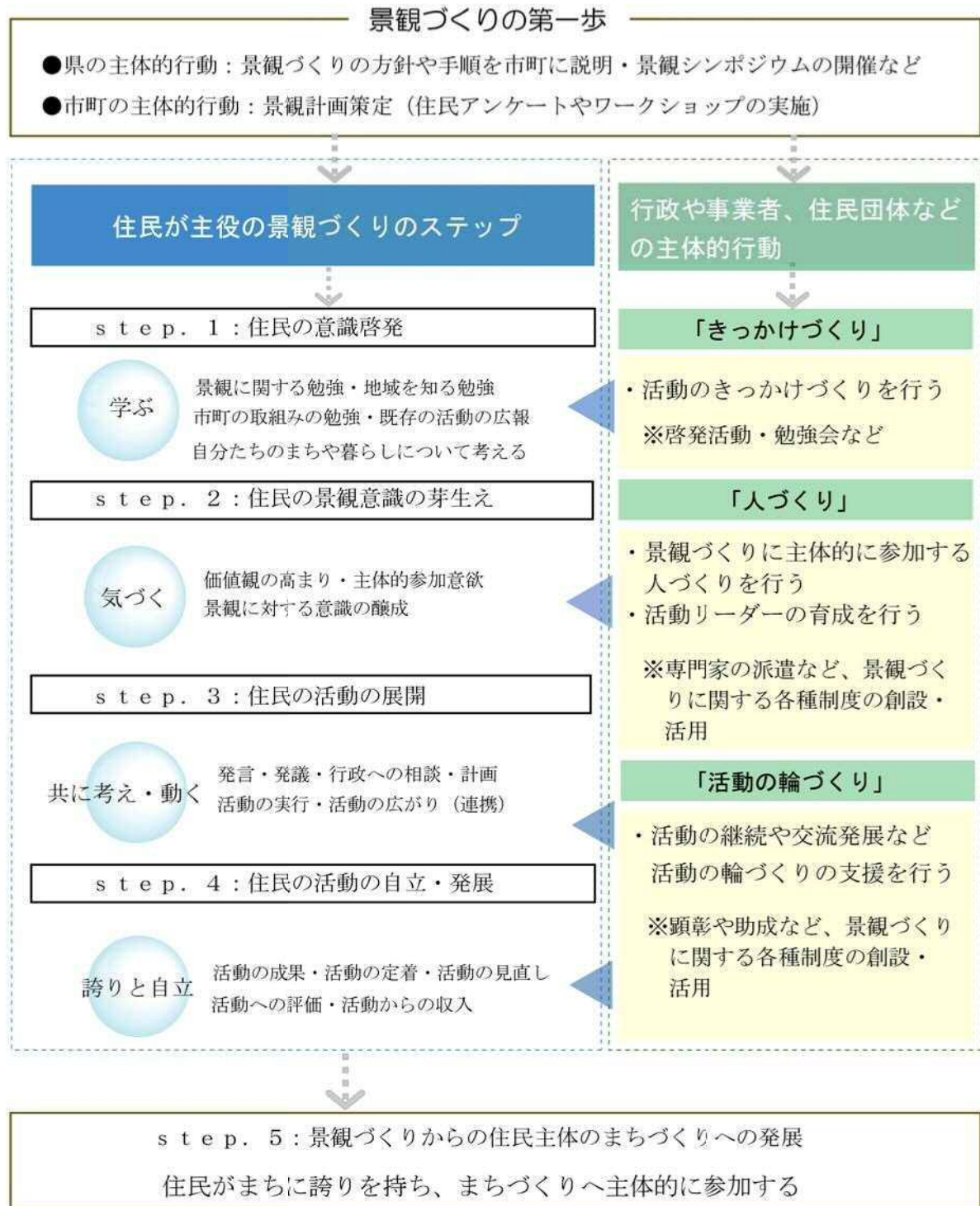


図-16 住民が主役の景観づくりのステップ

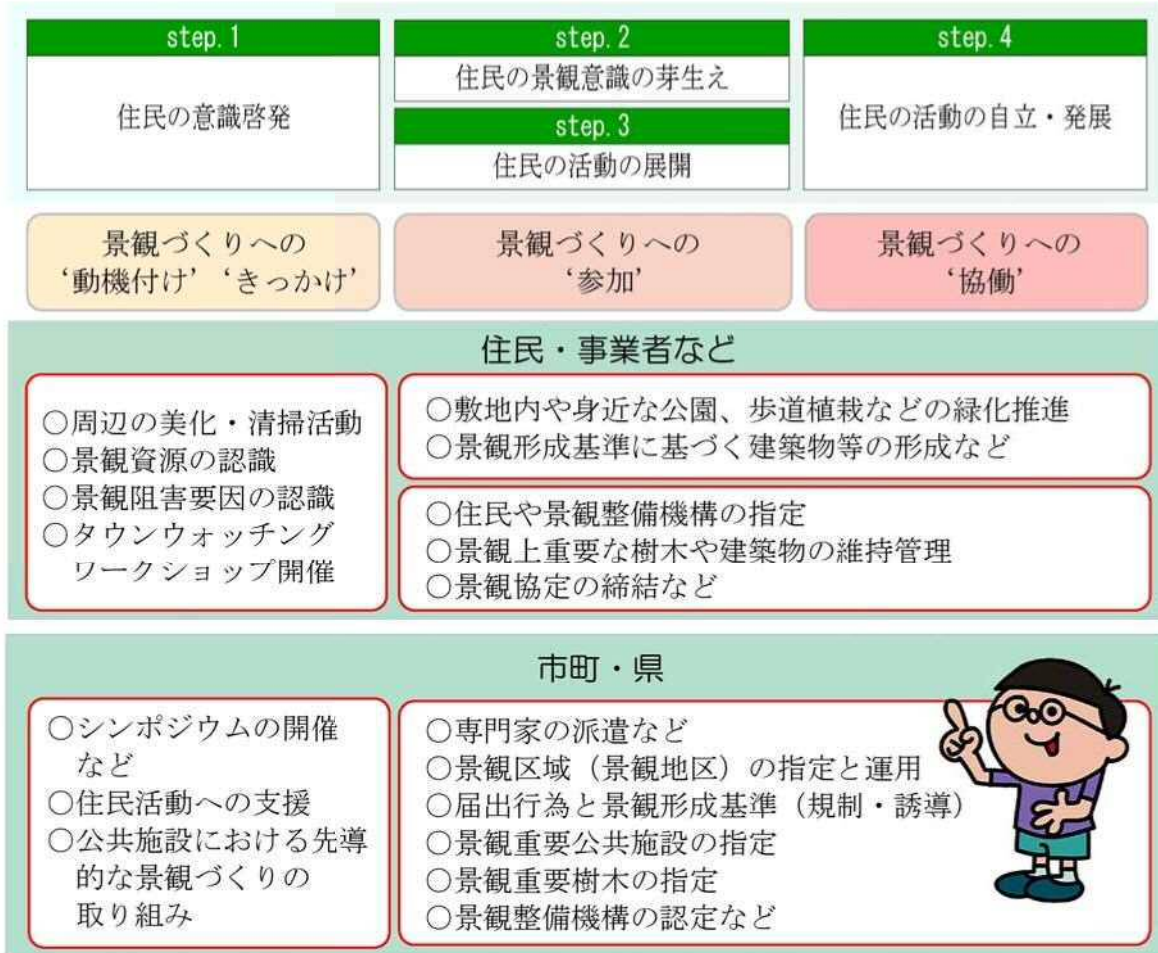


図-17 景観づくりの取組み内容の例



7. 景観づくりからの住民主体のまちづくり

7-1. 基本的考え方

景観づくりは、身近にある瀬戸内海のすばらしさを気づかせてくれます。すばらしい景観のなかで生活しているという自覚は、自分たちのまちに愛着や誇りを持たせてくれます。

また、景観づくりを通じて仲間が増えます。仲間とともにこれまで知らなかった自分たちのまちの歴史・文化などを学びます。そして、自分たちのまちに新たな誇りを持たせてくれます。

景観づくりから自分たちのまちに誇りを持ち、自分たちが主体となるまちづくりへつながる活動は、人を元気にします。まちを元気にします。そして、地域コミュニティを活性化させます。

瀬戸内海の島々では、地域のコミュニティが人やまちを守ってきました。瀬戸内海のすばらしさも地域の住民が支え合って、守り、育て、活かしてきました。

今、元気な地域を目指して、瀬戸内海の景観づくりから住民主体のまちづくりが求められています。

景観づくりから、まちが元気になる住民主体のまちづくりを目指します。



美しい瀬戸内海は、誇れるまち、元気なまちをつくる源です。



7-2. 住民主体のまちづくりの取組み

景観づくりから住民主体のまちづくりへ向けた取組みの事例を示します。

■モデル地区（土庄町、小豆島町、直島町）での取組み

「村里づくり」の取組み

- ・土庄町10地区で村里づくりの協議会による地域資源の掘り起こし、美化運動などの活動が行われています。
- ・高齢化や定住人口の減少などによって失われつつある地域コミュニティの活性化を図っています。



(本町地区) まちんじょ里づくりの会

(大木戸・港新町・古ヶ浦地区) 美しい港の里づくり推進協議会

(西浦地区) 戸形地区村里づくり委員会

(湊崎地区) 湊崎村里づくり推進協議会

(上庄地区) 上庄地区村里づくり推進協議会

(大鐸地区) 大鐸村里づくりを進める会

(四海地区) よつみいきいき協議会

(北浦地区) 北浦輝く里づくりの会

(大部地区) 美島里づくり協議会

(豊島地区) 豊島・島づくり委員会

【活動の成果】

- ・地域活動の中核組織として機能しています。
- ・住民のまちづくりに対する意識が向上しています。

「迷路のまち」の取組み

- ・土庄町本町では細い路地と古い地割りを活かしたまちづくりが進められています。
- ・まちなみの景観づくりのため、統一感のある「のれん」や「あんどん」の設置を行い、住民によるボランティアガイド協会が活躍しています。



【活動の成果】

- ・街の中心部の活性化や来訪者の増加に繋がっています。

三都半島での取組み

- ・小豆島町の「三都をよくする会」では、花いっぱい運動を進め、谷尻地区の桜の植樹、吉野地区のレンゲ、除虫菊の栽培を行っています。
- ・住民と芸術家との交流から地域活性化を目指す取組みが行われています。



【活動の成果】

- ・来訪者が増加し、他地域との交流が生まれています。

「花いっぱい、緑花推進運動」の取組み

- ・小豆島町では、2団体（池田花とふれあいの会、内海花のまちづくり協会）が軸となり、四季を通じて町内全域の主要幹線道路ぞいの花壇維持整備に取り組んでいます。

【活動の成果】

- ・地域活動の中核組織として機能しています。



寒霞渓での取組み

- ・一九六四会は、寒霞渓への登山道の清掃緑化活動に45年間取り組んでいます。

【活動の成果】

- ・地域活動の中核組織として活動が定着しています。



中山・千枚田での取組み

- ・小豆島町の中山地区の千枚田の保全と来訪者との交流を目的として「彼岸花」を畦に植える活動が行われています。
- ・島外からのボランティアが集まり、地域のすばらしさを発信しています。

【活動の成果】

- ・他地域との交流により、棚田支援の輪が広がっています。



直島での緑化活動の取組み

- ・直島町では、平成10年に荒神島、平成16年に直島で山火が発生しました。
- ・町が主体となってボランティアを募り「共創の森づくり」（荒神山）や、「みどり創生in直島」（直島）として植栽活動を行っています。
- ・春に植樹祭を開催し、町内外の住民、事業者による植栽活動を行ってきました。
- ・植樹はほぼ完了し、平成22年度より植栽から育成に活動をシフトします。

【活動の成果】

- ・町内外からの参加者によって、他地域との交流が広がっています。



「花いっぱい運動」の取り組み

- ・直島町婦人会積浦支部が県道沿道で「花いっぱい運動」を展開し、道路周辺の美化活動を進めています。
- ・「花いっぱい運動」の担い手となる後継者不足から地域全体で支える取り組みが進められています。

【活動の成果】

- ・婦人会から地域全体へと活動の輪が広がっています。



■他地域での取り組み

本島笠島地区（丸亀市）での取り組み

- ・住民が江戸時代から続くまちなみを守ろうと「本島町笠島まち並保存協会」を発足させ、家の修復作業を行っています。
- ・粘り強い説得と実績の積み重ねによって、地区住民の意識改革が進んでいます。
- ・古民家を再生し宿泊施設を整え活用しています。

【活動の成果】

- ・住民の大切な景観が守られ、交流人口が増加しています。



「三豊菜の花プロジェクト」（三豊市）の取り組み

- ・休耕田に菜の花を植え、種から食用油をとり、学校給食等で使い、廃油をバイオディーゼル燃料として使う循環型社会を目指しています。

【活動の成果】

- ・収入源の確保によって、自立した活動として継続されています。
- ・活動を通じて認知度が高まり、多様な人材による活動が展開されています。



「かさおか島づくり海社」（笠岡市）の取り組み

- ・NPO法人が笠岡諸島のそれぞれの島の特徴を活かしながら島おこしを行っています。島の活性化を目的に、観光イベント、移住者の空き家斡旋、医療、福祉、廃校の活用を行っています。
- ・廃校を地域の資源として活用した観光プランを作成しています。

【活動の成果】

- ・イベントを通じ地域への関心が集まり、移住者が増えています。



内子町での取組み

- ・昔の商家が建ち並ぶ八日市・護国のまちなみは、国の重要伝統的建造物群に選定されています。まちなみ保存がまちづくりの核として位置づけられ、住民と行政の協働により、まちなみの保存・活用が進んでいます。
- ・農村景観が優れた石畳地区では、農村の活性化として、豊かな自然や暮らしの文化を活かした地域振興をめざす「村並み保存運動」を展開しています。



【活動の成果】

- ・伝統的なまちなみを生かした景観づくりにより多くの観光客が訪れ、地域の活性化に繋がっています。

脇町(美馬市)での取組み

- ・住民組織、商工会など各種団体、行政が一体となって「うだつ」のあるまちなみの保存に取り組んでいます。
- ・市街地景観条例の制定、重要伝統的建造物群保存地区の指定など、まちなみを活かした地域活性化への取組みが進められています。



【活動の成果】

- ・住民にとってかけがえのない景観が守られ、観光客の増加し、地域の活性化に繋がっています。

宇和島市遊子水荷浦での取組み

- ・遊子地区のシンボルである水荷浦の段畑を後世に残していくため、2001年に住民が主体となって「段畑を守ろう会」が設立されました。
- ・行政からの補助やオーナー制などによって、段畑を修復し、維持しています。



【活動の成果】

- ・人々の営みによって維持され、地域の風土と調和した景観として、2007年に国の重要文化的景観に指定されました。
- ・選定によって、住民の段畑への誇りや景観を守ろうとする意識が高まっています。
- ・段畑の景観と地域の文化を楽しむ観光客が増加し、地域の活性化に繋がっています。

引用文献

国土交通省「四国圏広域地方計画」（平成 21 年 8 月）

香川県「香川県新世紀基本構想 後期事業計画< 2005-2010>」（平成 17 年 3 月）

香川県「香川県景観形成指針」（平成 19 年 3 月）

松川半山稿本「小豆島名所図絵」土庄町図書館資料

吉岡敏光「絵本小豆島のお遍路さん」（昭和 61 年）

緑川洋一、岡谷公二、古茂田不二「瀬戸内海島めぐり」（平成 3 年 5 月）新潮社

掲載写真

P5「柿本人麻呂碑」：坂出市

P6「田浦周辺、隠れキリシタン」、P9「太鼓祭り、農村歌舞伎、オリーブの木」、P18「太鼓祭り、虫送り、農村歌舞伎」、P21「髻の郷、小豆島オリーブ公園」、P28「遍路、太鼓祭り」、P45「人々」 撮影：久留島克彦

P10「中学生による小豆島観光ポスター」：小豆島町立池田中学校

P15「地中美術館」 撮影：藤塚光政

P48「かさおか島づくり海社」：かさおか島づくり海社

P49「内子町」：内子町

P49「脇町」：美馬市

P49「遊子水荷浦」：宇和島市観光協会

瀬戸内海景観ガイドライン

－ 平成22年3月 －

香川県土木部都市計画課

〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号

TEL (087)832-3557
